**学習指導案**

教科：高校　地理総合　　対象：県立愛川高校　２年生

作成者：中坂天、木村直太、髙畑真吾（横浜国立大学教育学部２年）

編集：陳乙萱（連合大学院博士課程３年）

監修：遠藤昌一郎（県立愛川高校教諭）

**１．単元**

教科書：地理総合　出版社：帝国書院　宗教・歴史①「ヒンドゥー教と生活文化の関わり」

単元：食文化と食糧生産の変化「緑の革命と白い革命」（頁99）

**２．単元目標**

１）インドでの牛乳生産が多いことに興味を向け、その要因を多角的な視点から追及していく。（関心・意欲・態度）

２）「白い革命」についてインドでの宗教や食文化と結びつけて説明する。（地理的な見方・考え方）

３）資料や写真に目を向け、それらから読み取ることができる内容を問いに結びつける。（地理的な技能）

４）「白い革命」がもたらしたインドでの生乳生産の変化がどのようなものだったかを理解する。（知識・理解）

**３．指導上の立場**

**１）生徒の実態**

・本学級は多国籍クラスであり、出身国や母語、信仰する宗教が異なる生徒が在籍している。

・日本語の習熟度にばらつきがあり、日本語の読み書きに不自由が少ない生徒や英語での補足が必要な生徒など様々である。

・学習に対する意欲も生徒によって様々だが、日本語での学習に難を感じているのが起因しているように思われる。

・本教材でも取り扱うインドを母国とする生徒も所属している。

**２）単元内容**

インドでミルクや乳製品の生産が急増した現象である「白い革命」に関して、インドでの牛乳生産がどのように変化していったかを、インドの宗教や食文化などと結びつけて理解し説明する。その際、写真や資料からの読み取りや他者との話し合いを通じて生徒たちが主体的に考察できる機会にする。

**４．本時の指導計画**

**１）目標**

**「白い革命」についてインドの宗教、食事、インド酪農協同組合、品種改良と結び付けて理解し、説明する**

**２）指導上の留意点**

・授業を通じて、大きな声・はっきりした発声・わかりやすく丁寧に話すことを意識する。

・必要に応じて、適宜英語で言い換えを行う。

・生徒が積極的・主体的に授業に取り組めるような問いかけや支援を行う。

**３）本時の指導計画**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 観点 | **知識･技能** | **思考力･判断力･表現等** | **学びに向かう力･人間性等** |
|  | ・ヒンドゥー教の食事についての戒律について理解する。  ・ヒンドゥー教に菜食主義者が多いことについて理解する。  ・インド酪農協同組合の仕事と重要性を理解する。  ・品種改良での水牛の変化について理解する。 | ・インドでなぜ乳製品の生産が多いのかをインドの宗教と結び付けて理解し、説明できる。  ・白の革命についてインド酪農協同組合、品種改良を結び付けて理解し、説明できる。 | ・インドの宗教の特徴や食事、インド酪農協同組合について、他者との協働や提示された資料などを手がかりにしながら意欲的に追究しようとしている。 |

**４）本時の指導計画**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **学習活動・学習内容** | **教師の支援・問いかけ** | **学習評価** |
| **〇自己紹介**  **授業者の名前など**  **〇インドの牛乳生産について（10分）**  **・インドの牛乳の生産量世界1位（2022）のグラフの提示**  **→インドでは牛乳・乳製品の生産量が多いことを理解**  **☆中心発問**  **「なぜインドでは牛乳の生産量が多いのか？」**  **→食文化・食糧生産の2つの観点から着目する**  **1.食文化（全体15分）**  **○ヒンドゥー教の食事（7分）**  **インド人の食事（牛乳、乳製品を食べている）の写真を提示**  **→インド人にとって牛乳が身近であることを視覚的な発見とともに理解する**  **○インドの宗教について（８分）**  **インドの多くが信仰しているヒンドゥー教の食文化について**  **→ヒンドゥー教徒は牛を食べることができないことを理解する**  **2.食糧生産（全体２０分）**  **〇インドの年代別の生乳生産量の推移のグラフを提示**  **→1970年代から生乳の生産量が増加し始めたことに着目させる**  **☆発問**  **「なぜ牛乳の生産量が1970年ごろに増え始めたのか」**  **→品種改良と協同組合の２つの観点から着目する**  **○インドにおける牛の品種や特徴について**  **・牛の品種改良以前以後の写真や資料の提示**  **→ヨーロッパとインドの牛の特徴や違いを捉える**  **→インドの牛はヨーロッパの牛に比べて牛乳の生産量が少ないことを理解する**  **→品種改良によって牛乳の生産量（生産性）の増加を図ったことを説明する**  **○インド酪農協同組合について**  **農協に関する写真を提示**  **協同組合は何の仕事をしているのかを写真や図を用いて説明する**  **→牛乳の生産量の増加に寄与したことを理解する**  **品種改良・協同組合により牛乳の生産量が増加したことを「白い革命」と呼ぶ**  **○まとめ**  **授業を踏まえ、なぜインドの牛乳の生産量が多いのかを考えさせる** | **・インドの牛乳の生産量（世界比較、年代推移）のグラフの提示**  **・グラフの読み取りに際し、グラフの横軸や縦軸、点や線の意味を丁寧に説明する**  **・グラフの読み取り等に手詰まった場合、適宜支援を行う**  **・グラフの読み取りを踏まえ、中心発問につながっていくような誘導を行う**  **・食文化（何を食べる？どうして？）、食糧生産（どうやって？）の２つの観点から見る**  **・牛乳、乳製品を食べている写真の提示**  **・「写真の人たちは何を食べている？」**  **・乳製品を多く食べることなど視覚的な発見を促す**  **・インド人の食文化の特徴を捉え、牛乳や乳製品がインド人の食文化に根付いていることを理解する**  **・「インドにはどんな宗教がある？」**  **・「ヒンドゥー教はどんな宗教？」**  **・ヒンドゥー教徒は神の使いである牛を殺し食べることができないが、牛乳は飲むことができることを理解**  **・縦軸横軸が何を表し、それぞれの折れ線がどこの国のグラフなのかを丁寧に説明する**  **・グラフの特徴が捉えづらい場合、適宜支援を行う**  **・グラフの読み取りを踏まえ、発問に誘導する**  **・水牛の品種改良以前以後の写真や資料の提示**  **・牛の品種がヨーロッパのものと異なることを理解する**  **・牛の特徴に際し、それぞれの生徒がどの牛を想像するかに留意する**  **・品種改良とはどのようなものかを図などを用いて丁寧に説明する**  **・インド酪農協同組合が牛乳を農家から集めて加工し、貯蔵している写真を映し出し、生徒に考えさせる**  **・問いの「なぜ牛乳の生産量が1970年ごろに増え始めたのか」に結びつける**  **・授業で学んだことの復習を行う** | **【学びに向かう力・人間性】**  **資料などを手掛かりに、他者と協働しながら主体的に考察していく**  **【知・技】**  **ヒンドゥー教に菜食主義者が多いことについて理解する**  **【知・技】**  **ヒンドゥー教の食事についての戒律について理解する**  **【思・判・表】**  **食文化と乳製品を結び付けて説明できる**  **【学びに向かう力・人間性】**  **資料などを手掛かりに、他者と協働しながら主体的に考察していく**  **【知・技】**  **品種改良による家畜の変化について理解する**  **【思・判・表】**  **白の革命についてインド酪農協同組合、品種改良を結び付けて説明できる** |